



# 哀悼

## 故松本崇大村市長 大村市合同葬

9月29日(火)30日(水)  
於…さくらホール

9月25日に逝去された、故松本崇大村市長の「大村市・松本家合同葬」を、さくらホールで執り行いました。

松本市長のこれまでの功績と、多くの人に親しまれた人柄をしのび、市内外から多くの皆さまにご参列いただきました。葬儀委員長の小野道彦大村市長職務代理人(副市長)は、「大村の発展のため全身全霊を注いでこられました。故人がこよなく愛した『郷土大村』がますます繁栄するよう全力で取り組んでまいります。」とあいさつ。故人が結成時から関わりのあったOMURA室内合奏団の演奏のなか、参列者は故人との別れを惜しまました。

外では悲しむかのように雨が降り出し、約20年4か月にわたって市政のかし取りを行った市役所に向かい、最後のお別れをされました。



「日本でもっとも住みたくなるまち」を目指した――

# 松本市政を振り返る



「日本でもっとも住みたくなるまち」「福祉のまち日本」をまわりのスローガンに掲げ、「市民が主役」「対話の市政」をモットーに市政を担ってきた故・松本崇大村市長。長きにわたり、全力で大村市の発展のために奔走されました。

「日本でもっとも住みたくなるまち」を目指した市政を振り返ります。長い間、本当にお疲れさまでした。



昭和62年4月

45歳という若さで初当選。以来、通算6期20年4か月にわたり、ふるさと大村のため全身全霊を注いでこられました。



平成2年9月

エール・フランス社に誘致を進め、超音速機コンコルドの長崎空港への飛来が実現。地方空港には初めての飛来でした。



平成15年6月

危機的な財政状況を立て直すため「財政白書」を作成。これを基に財政健全化や行政改革など、効率的な行政運営に取り組みました。

年	市政の主なできごと
昭和62年	大村市長初当選(第14代市長)
平成元年	JR諏訪駅新設 大村市東京事務所開設 大村公園南堀花菖蒲園完成 大村ハイテクパークに県工業技術センター開設 杭出津松原線開通
平成2年	長崎自動車道大村〜武雄北方間が開通 大村公園が「日本さくら名所百選の地」に選定 天正少年帰国400年祭実施 超音速機コンコルド長崎空港に飛来
平成3年	大村ポートレース場ロイヤルスタンド完成 第15代大村市長に就任 天正夢広場完成
平成4年	「全国さくらサミットin大村」開催 琴平スカイパークオープン 大村公園板敷やぐら完成
平成5年	森園公園の角に「黒丸おどり像」が完成 ロザ・モタ広場完成
平成6年	中国上海市閔行区と友好都市提携意向書調印 郡川砂防公園完成 旧楠本正隆屋敷オープン
平成14年	大村市長に返り咲く(第18代市長)
平成15年	財政白書を作成し財政健全化に着手 「長崎ゆめ総体」開催 玖島中学校新校舎完成
平成16年	「OMURA室内合奏団」結成 松原しおさい公園オープン
平成17年	大村藩主大村家墓所が国の文化財指定 大村市の人口が9万人に到達
平成18年	第19代大村市長就任
平成19年	大村公園が「日本の歴史公園百選」に選定 県環境保健研究センター開設 郡地区公民館完成
平成20年	市立病院公設民営化 九州新幹線西九州(長崎)ルート着工 チャレンジデー初参加 「第1回おおむら市民のつばさ」を実施



「日本でもっとも住みたくなるまち、を目指した松本市政を振り返る」



平成26年3月  
長年の要望活動が実り、郷土芸能「郡三踊（寿古踊・沖田踊・黒丸踊）」が、市では初の国重要無形民俗文化財の指定を受けました。



平成24年1月  
国や県に対し要望活動を展開した結果、国道34号与崎交差点までが拡幅され、慢性的な交通渋滞が解消されました。



平成16年4月  
県内初のプロオーケストラ「OMURA室内合奏団」を結成。定期演奏会やアウトリーチコンサートで市民が芸術に触れる機会を創出。



平成26年11月  
平成24年の「コレモおおむら」のオープンに続き、市営住宅などを備えた複合施設「市民交流プラザ」がオープン。



平成24年8月  
工業団地は、平成23年の大村ハイテクパークの完売に続き、オフィスパーク大村も完売。19社の企業を誘致し、多くの雇用を創出。



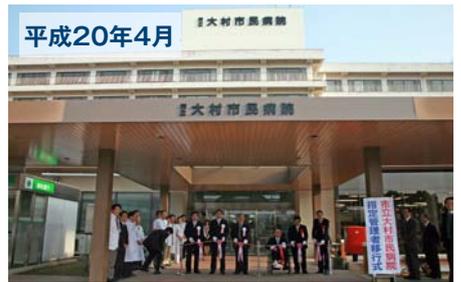
平成17年11月  
9万人目の市民となった親子と握手する松本市長。多くの自治体で人口が減少するなか、本市は着実に人口が増加し続けています。



平成27年3月  
ボートレース大村の新スタンドがグランドオープン。同年5月にはSGLレースも開催され、オープン当初からにぎわいを見せています。



平成25年10月  
平成15年から市民や民間団体と力を合わせて要望活動を続けた結果、県立図書館の誘致に成功。平成30年度に新図書館が開館予定。



平成20年4月  
危機的な経営状況にあった病院事業を公設民営化し、新病院の建て替えにも着手しました。

平成27年	平成26年	平成25年	平成24年	平成23年	平成22年	平成21年	
<p>小・中学校の耐震化が完了</p> <p>国際交流プラザオープン</p> <p>野岳ため池大規模改修工事が完成</p> <p>ボートレース大村新スタンドオープン</p> <p>大村消防署久原分署が開署</p> <p>防災行政同報系無線の整備に着手</p> <p>SGLレース「第42回ボートレースオールスター競走」開催</p> 	<p>5市5町の首長による「大村湾サミット」開催</p> <p>第21代大村市長に就任</p> <p>長崎がんばらんば国体開催</p> <p>長崎がんばらんば大会開催</p> <p>市民交流プラザ「コレモおおむら」オープン</p> <p>古賀島スポーツ広場が完成</p>	<p>大村市立小学校給食センターが稼働</p> <p>市立・県立二体型図書館を大村市に建設することが決定</p> <p>大村市中小企業振興基本条例を制定</p> <p>「大村の郡三踊（寿古踊・沖田踊・黒丸踊）」国の重要無形民俗文化財指定</p>	<p>上駅通り地区商業施設「コレモおおむら」オープン</p> <p>G「第1回賞金女王決定戦」開催</p> <p>大村メガソーラー発電所が稼働</p> <p>大村市小学校給食センターが稼働</p> <p>市立・県立二体型図書館を大村市に建設することが決定</p> <p>大村市中小企業振興基本条例を制定</p>	<p>米田自動車道の木場スマートインターチェンジの新設が決定</p> <p>米田サンカルロス市と姉妹都市提携</p> <p>オフィスパーク大村完売</p> <p>広域農道「大村東彼岸地区」全線開通</p> <p>上駅通り地区商業施設「コレモおおむら」オープン</p> <p>G「第1回賞金女王決定戦」開催</p> <p>大村メガソーラー発電所が稼働</p> <p>大村市立小学校給食センターが稼働</p> <p>市立・県立二体型図書館を大村市に建設することが決定</p> <p>大村市中小企業振興基本条例を制定</p>	<p>第24回FIBA ASIA女子バスケットボール選手権大会開催</p> <p>SGLレース「第14回チャレンジカップ競走」開催</p> <p>国道34号大村拡幅工事、与崎交差点までの区間が開通</p> <p>市のマスコットキャラクター「おむらんちゃん」誕生</p> <p>長崎自動車道の木場スマートインターチェンジの新設が決定</p> <p>米田サンカルロス市と姉妹都市提携</p> <p>オフィスパーク大村完売</p> <p>広域農道「大村東彼岸地区」全線開通</p> <p>上駅通り地区商業施設「コレモおおむら」オープン</p> <p>G「第1回賞金女王決定戦」開催</p> <p>大村メガソーラー発電所が稼働</p> <p>大村市立小学校給食センターが稼働</p> <p>市立・県立二体型図書館を大村市に建設することが決定</p> <p>大村市中小企業振興基本条例を制定</p>	<p>野岳ため池が「ため池百選」に選定</p> <p>都市計画道路久原池田線が開通</p> <p>SGLレース「第20回グランドチャンピオン決定戦」開催</p> <p>全国民間空港関係市町村7自治体が相互応援協定を締結</p> <p>第20代大村市長に就任</p> <p>子ども夢基金条例を制定</p> <p>シーハットおおむらが地域創造大賞（総理大臣賞）を受賞</p> <p>大村ハイテクパーク完売</p>	<p>国道34号大村拡幅工事、水主町～玖島中学校入口交差点間開通</p> <p>活水女子大学看護学部の開設</p> <p>野岳ため池が「ため池百選」に選定</p> <p>都市計画道路久原池田線が開通</p> <p>SGLレース「第20回グランドチャンピオン決定戦」開催</p> <p>全国民間空港関係市町村7自治体が相互応援協定を締結</p> <p>第20代大村市長に就任</p> <p>子ども夢基金条例を制定</p> <p>シーハットおおむらが地域創造大賞（総理大臣賞）を受賞</p> <p>大村ハイテクパーク完売</p>